

**無料wifi、オムツ交換台、
和室でデザートをゆっくりと**

最近では小さなお子さん連れの女性利用
者も増えている。和室で赤ん坊を寝かせる
ことができたり、オムツ交換台がバリアフ
リートイレに完備され、無料wifiもあつたり
と、ランチ後のカフェメニューも増えて、長
居できる要素が充実している。デザートも
季節のものを取り入れて、年中楽しめる。



赤馬館のバリアフリートイレには、おむつ交
換台、ベビーチェアを完備。車椅子はもちろ
ん、オストメイトも対応している。

お昼からお酒も飲める。夜営業の要望も多く、「と
ん万さんが元々得意とされる居酒屋の経験を活
かせるよう、今後検討していきたい」と長尾館長。



Akamakan

赤馬館

Theme 悠々閑々

About 赤間、赤間西、吉武、南郷地区の東部4地区の観光拠点として生まれたのが、街道の駅赤馬館。

その昔、神武天皇がこの地に來られた時、赤い馬に乗った八所宮の神様が現れて出迎え、案内されたことから、赤馬（赤間）の名が付いた、という説がある。江戸時代には参勤交代などで人々の往来が盛んになった唐津街道赤間宿。幕末には維新志士なども訪れ、近代では出光佐三が生まれた地。



カフェメニューも充実していて、様々なケーキなどが楽しめる



座敷のテーブルは低くして利用することも可能



各ラーメンには地元事業者の調味料を使用。各事業者の一般向け商品は赤馬館でも販売している。



鯛そぼろご飯も付いてくるミニラーメンのセットメニューも



赤馬館の焼印が入ったどら焼き



**地産地消をテーマにした
ランチ、カフェメニュー提供**

唐津街道赤間宿に赤馬館が開館したのが2014年11月。七浦三里と呼ばれ、海の幸など様々な物資の集散する宿場町として、江戸時代には多くの人々の往来で栄えた。いまでは住宅が増え、街の雰囲気も少しずつ変化しているが、創業230年以上の酒蔵や古い町並みからその名残を未だ垣間見ることが出来る。

宗像市の東部4地区（赤間・赤間西・吉武・南郷地区）観光拠点として市内外の人々に、より宗像を知ってもらう場所として開館した赤馬館は当初から地元の人々のおもてなしでランチやカフェを提供。7年目からは「地産地消」をテーマに宗像の食材を市内外へアピールするため、「お食事茶屋とん万（とんま）」が新規出店した。

**塩、醤油、味噌で
宗像を感じる**

とん万代表の中村和馬さんは、10代の頃から宗像市商工会に所属し、地元の商工業者の方々とつながりを持ってきた。それが土台となり、宗像市に根付いた商売をこれまでずっと行ってきた。店長の玲子さんも、夫の和馬さんとともに20年以上、居酒屋やケーキ屋、揚げ物屋など様々な飲食事業を行ってきた。

館長との面談の際に「宗像の食を通じて宗像をPRできるようになものを作って欲しい」との言葉に出店へと気持ちが動いた。また、赤馬館という場所が宗像を対外的にPRできる場所のひとつであることなど、条件が合ったことが大きかった。とん万の人氣メニューは「宗像ラーメン」、井ひとつで宗像をアピールできる、という想いで生ま

れた。宗像は自然豊かで様々な食材があり、調味料の塩、醤油、味噌もある。その調味料を活かした3種のラーメンを提供。市外から赤馬館に訪れた人たちにも一年を通していつでも気軽に宗像を感じてもらえる。宗像の旬のものを取り入れたデザートも提供していて、四季折々の宗像も楽しむことができる。

**宗像はゆつたりと、
お食事もゆつたりと**

店長の中村さんに今後の目標を伺った。「宗像は都会と違い、わざわざしていない地域。ゆつたり観光して、とん万でもゆつくり食事をして、ボケーとして、帰る頃には穏やかな気持ちになってもうえたら。」と話す。事前予約も受け付けていて、個人から団体まで対応しているので、赤馬館を訪れる際は予約してみようか。